

もうすぐ卒園ですね。

卒園式の練習が始まりました。

卒園式の歌はメロディがやさしく歌詞もどこか懐かしい。保育園で積もった思い出に心をこめて歌う子どもたちの声を聴くと、楽しそうな笑顔、がんばったこと、泣いちゃったことなどたくさんの出来事が思い出されます。

保育園に通い始めたころは保護者の皆様も心配でしたよね。

「保育園に慣れてくれるかな？」

「登園時に泣いちゃうかな？」

「友達出来るかな？」

「先生はやさしいかな？」



子どもたちにとって初めての社会生活ですから子どもたちも慣れるまでは大変だったでしょうね。でも子どもたちは自分で保育園の中に自分の楽しいことをみつけ、信頼できる先生をみつけてどんどん行動範囲を広げていきました。

小さい子にやさしくてブロックや鬼ごっこなども仲間に入れて教えてあげたり、壊されても怖くは怒らず穏やかに笑っていたり、同じ歳の友達同士では豪快に遊んでケガはしないかハラハラしながら見ていたりもしました。困っている友達がいればすぐに誰かが助けて、もちろんけんかもしましたが自分が悪いと分かればすぐに謝ることもできてとてもいい雰囲気の毎日でした。(たまにすねることもあります(笑))

運動会、クリスマス会、おゆうぎ会などの行事では先生のなげかけの中に自分たちで目標を決めてがんばりました。「もっと練習したい！もっと練習したい！」とせがまれ逆に先生が「もう許して～」というほどでした。練習では、手の振り方や足の運

びなど微妙な動作を自分たちで研究もしていましたね。

一見つまらなそうなことでも自分たちで面白いことに変えてしまったり、ささやかなことに気づいて喜び人と共有したり…いろいろありすぎて書ききれません。

ふじ乳児保育園の子どもたちを見ていると自分たちの行動に自信をもっていること、課題への目標をたてること、人にやさしいことなどにたけていて一言でいえば『生きる力に満ち溢れている』と感心させられます。

もうすぐ卒園ですが子どもたちが作り出した思い出の数々は、素敵な財産になることでしょう。たくさんの思い出を胸に、これからの未来に大きく羽ばたくことを祈って見守っています。

